

津田塾大学教授

朴正鎮氏講演会



北朝鮮の核実験は日本と韓国において同じ脅威であり、北朝鮮の非核化をめぐる日本と韓国の利害関係も一致します。しかし、今の日韓関係は、協力どころか、戦後最悪とも言われています。その原因として「慰安婦問題」や「徴用工問題」など、いわゆる歴史問題が取り上げられます。果たしてそうでしょうか。この講義では、北朝鮮問題を話題にしながら、現在の日韓関係における構造変化を確認し、今後の課題を共有します。

北朝鮮非核化と日韓関係

2019年 7 月 6 日 (土) 13:30~15:30
千駄ヶ谷キャンパス2階会議室

朴正鎮 (PARK Jung Jin)

津田塾大学国際関係学科教授

1972 年ソウル生まれ。2009 年東京大学 学術博士、2018 年 11 月津田塾大学 国際関係学科教授。著書に 『日朝冷戦構造の誕生 1945-65』 平凡社 2012年。『帰国運動とは何だったのか—封印された日朝関係史』 (共編著:高崎宗司・朴正鎮)平凡社 2005 年、最近の論考に「北朝鮮非核化の行方—空転する日韓の連携」『同代史研究』第 11 号、2018 年 12 月。



参加費 2,000円

＊学生 1,000円

＊支払いをもって参加申込み完了となります。

申込み方法

以下のいずれかで

- ① HP
- ② Eメール
- ③ 電話

★同窓会HPでの申込みが便利で確実です。

入金方法

「2019年度同窓会企画事業案内」や『津田塾たより』2018 年No.2の32頁等をご参照ください。